

大島町

【名称】 大島町障害者自立支援協議会

【ホームページURL】 未開設

【設置年月】 平成25年3月

【運営方法】 直営

【組織図】



【相談支援体制の整備状況】

基幹相談支援センター数	委託相談支援事業所数	指定一般相談支援事業所数		指定特定相談支援事業所数	指定障害児相談支援事業所数
		地域移行	地域定着		
0	0	0	0	2	0

【地域生活支援拠点等の整備状況】

整備状況	整備時期	整備類型
検討中	未定	未定

【日中サービス支援型共同生活援助の有無】

日中サービス支援型共同生活援助の有無

開設の有無	開設時期
なし	—

【全体会及び専門部会の活動回数及び委員数】

全体会の活動回数及び委員数 専門部会：未設置

全体会	
回数	委員数
2	10 (0)

※「委員数」の()：当事者の立場で委員に就任されている方の人数(再掲)

【全体会の委員構成及び活動内容】

(1) 委員構成

種別	人数	種別	人数	種別	人数
学識経験者	0	医療関係者	0	保健所	1
教育関係機関	0	雇用関係機関	0	企業	0
障害当事者・家族・関係団体	0	身体・知的障害者相談員	2	相談支援事業者	0
障害福祉サービス等事業者	4	社会福祉協議会	1	法曹関係者	0
民生委員・児童委員	1	地域住民	0	行政職員(区市町村)	1
行政職員(都)	0	その他	0		
合計	10				

委員名簿

No.	役職	氏名	所属	種別	備考
1		安田 喜人	第2大島恵の園	障害福祉サービス等事業者	
2		高橋 望	大島藤倉学園	障害福祉サービス等事業者	
3		下司 恵子	黒潮作業所	障害福祉サービス等事業者	
4		松本 幸子	あしたばの会	障害福祉サービス等事業者	
5	会長	藤田 好造	大島社会福祉協議会	社会福祉協議会	
6	副会長	吉本 みな子	民生委員・児童委員協議会	民生委員・児童委員	
7		坂上 真紀	島しょ保健所大島出張所	保健所	
8		大野 早苗	身体障害者相談員	身体・知的障害者相談員	
9		倉田 ミツ子	知的障害者相談員	身体・知的障害者相談員	
10		篠崎 裕子	大島町役場福祉けんこう課けんこう	行政職員(区市町村)	

(2)活動内容

今後の自立支援協議会の運営方法等検討
 島内障害者対応ケースについての報告
 島内障害福祉サービス事業所等見学(令和2年度については台風15号・19号災害により中止)

【地域協議会の活動状況】

1 協議会の協議事項(複数回答)

② 就労支援に関すること

大島町内の障害者の方が働ける場所の発掘

③ 地域移行・地域定着支援に関すること

地域に障害者の方が戻って来られた際にどのような支援を行っていくか検討

⑤ 困難事例等の解決に向けた検討に関すること

困難事例解決に向けた各関係機関との情報共有及び連携

⑥ 関係機関や他分野のネットワークに関すること

個別ケース会議の実施

⑦ 社会資源の開発及び改善に関すること

社会福祉施設の見学及び検討

2 協議会としての役割(複数回答)

① 情報の顕在化

様々な機関が分野を越えて集まり、情報共有を図り、それぞれが抱えている課題の抽出と、それに対する各組織の専門性を活かした課題解決に向けた検討

② 情報共有・情報発信

各関係機関との困難事例等の情報共有、各組織の専門性を活かした課題解決に向けた検討

⑤ 地域課題の整理

現在自立支援協議会にあがってきていない障害者へのケース検討

⑥ 課題解決に向けての検討

民生委員や身体・知的相談員の方など地域住民に密着している方々に声をあげられないでいる障害者の方々の情報をもらうよう周知をする。

⑧ 社会資源の開発及び改善

島内にある施設見学を行い、障害者の方が利用できそうなサービスを検討

3-1 協議会における地域課題
あがっている

3-2 地域課題の把握方法(複数回答)

- ②全体会、専門部会、各種連絡会等
- ③個別支援会議

3-3 地域課題に対して取り組んだ、又は取り組んでいる内容(複数回答)

① 相談支援の質及び量

自立支援協議会の名の下に相談支援を行い、地域で暮らしている在宅の障害者の困りごとや障害者の方が利用できるサービスにつなげている。

② 社会資源の開発及び改善

島内施設の見学

③ 権利擁護・虐待防止

昨年度作成した高齢者・障害者虐待防止マニュアルを活用

4 協議会における当事者の参画状況

(当事者の委員がいる区市町村)

4-1 多様な当事者の委員(障害や難病の種別、性別、年齢等)が参加していくにあたり、取り組んでいること、課題になっていること

当事者委員がない。

(地域協議会を設置している区市町村)

4-2 当事者の委員だけではなく、地域で生活する多様な当事者(障害や難病の種別、性別、年齢等)の声を吸いあげられる協議会にするために、取り組んでいること、課題になっていること

地域で生活する多様な当事者の声を吸いあげられるように他機関と連携を強化している。